

2. 修業年限および在学年限

修業年限は4年とし、8年を超えて在籍することはできないものとする。

3. 卒業の要件

(1) 卒業所要単位

所定の授業科目について、最低137単位以上の単位を修得しなければならない。

卒業所要単位の内訳は、下表のとおり。

科 目	区 分	単 位 数
共通教育科目	初年次・リテラシー教育科目	必修を含め40単位以上 (必修22単位) (留学生は必修32単位)
	キャリア教育科目	
	教養教育科目	
専門教育科目	初等教育専門科目	必修を含め97単位以上 (必修87単位)
	特別支援教育専門科目	
	中等教育専門科目	
	専門演習 卒論指導演習 卒業論文	
合 計		137単位(必修109単位)

・専門教育科目の表を見る場合の留意点

1. 標準履修年次とは、4年間の学修の中で、通常はそこで示された年次に履修することが学修効果として望ましいという指標を示したものであるから、各年次で履修計画を立てる場合に参考にすること。
2. ただし、上位学年は下位学年の科目を全て履修可能なので、時間割の関係などで標準履修年次に履修できなかった科目を上位学年で履修する（つまり、標準履修年次1・2年の科目を3年次や4年次で履修する）ことは全く問題ない。
3. なお、標準履修年次2・3年という表示がある場合は、2年次からの履修しか認めないという意味でもあるので、下位学年、つまり1年次には履修できないことに注意。

(2) 卒業見込証明書の発行基準について

3年以上（休学期間は除く）在籍し、卒業所要単位137単位のうち、3年次後期終了時点で発行申請する場合は103単位以上を修得している者、4年次前期終了時点で発行申請する場合は115単位以上を修得している者について発行する。

4. 履修基準（履修にあたっての留意事項）

- (1) 前期、後期それぞれで履修できる履修単位数の上限は22単位である。ただし、資格等取得に関する科目で卒業要件とならない科目、集中講義のように通常時間割に含まれない科目、および他大学等との単位互換制度に基づいて履修する科目の単位はこれに含めない。
- (2) 成績優秀者（直前の学期において20単位以上修得し、それらの科目のGPA値が3.0以上の者）に対しては、上限を半期28単位まで緩和する。この基準に該当し、上限を超えて履修登録を希望する場合は、教務課に自ら申し出て指示を受けること。
- (3) 4年次においては、例外として22単位を超えて履修できる場合がある。ただし、教務課に自ら申し出て指示を受けた場合に限る。

○他学科科目の履修について

- ・他学科（発達教育学科 or 心理コミュニケーション学科）の開講科目を履修することができる。
- ・他学科において履修した科目のうち、以下の科目については他学科での開講科目名のまま発達教育学科では6単位まで、心理コミュニケーション学科では4単位まで、「学科外履修」の卒業要件科目として単位を認定することができる。
- ・他学科科目のWeb履修登録はできないので、希望者は教務課に申し出ること。

<発達教育学科の学生>

「心理学概論」（1前）、「心理学研究法」（1後）、「社会学概論」（1・2前）

<心理コミュニケーション学科の学生>

「教職論（小・中・高）」（1・2前）、「教育原理（小・中・高）」（1・2後）

5. 履修方法

(1) 共通教育科目

授業科目の名称		単位数			標準履修年次	備考	
		必修	選択必修	選択			
共通教育科目	基礎ゼミナール1	2			1前		
	基礎ゼミナール2	2			1後		
	英語A1 (文法・語彙)	1			1前	留学生(交換留学生を除く)はA1、A2、B1、B2のみ必修。	
	英語A2 (文法・語彙)	1			1後		
	英語A3 (英文講読)	1			2前		
	英語A4 (英文講読)	1			2後		
	英語B1 (コミュニケーション)	1			1前		
	英語B2 (コミュニケーション)	1			1後		
	英語B3 (コミュニケーション)			1	2前		
	英語B4 (コミュニケーション)			1	2後		
	日本語A1a		1		1前	日本語A1～B4全科目は、留学生(交換留学生を除く)のみが対象。留学生以外は履修不可。 日本語A1～A4は、a (advanced) またはb (basic) どちらか(計4単位)を選択必修	
	日本語A1b		1		1前		
	日本語A2a		1		1後		
	日本語A2b		1		1後		
	日本語A3a		1		2前		
	日本語A3b		1		2前		
	日本語A4a		1		2後		
	日本語A4b		1		2後		
	日本語B1	1			1前		
	日本語B2	1			1後		
	日本語B3	1			2前		
	日本語B4	1			2後		
	コンピュータリテラシー1	2			1前		
	コンピュータリテラシー2			2	1後		
	スポーツ科学実技A1	1			1前		
	スポーツ科学実技A2	1			1後		
	スポーツ科学実技B			1	1・2前		
スポーツ科学実技C			1	1・2後			
キャリア教育科目	スタディスキルA	2			1後		
	スタディスキルB			2	2前		
	キャリアデザイン1	2			1後		
	キャリアデザイン2	2			3前・後		
	ブレインターンシップ	2			2前・後		
	インターンシップ			2	3前・後		
教養教育科目	心理学			2	1・2前		
	歴史学			2	1・2前		
	文学			2	1・2後		
	デザイン論			2	1・2後		
	憲法入門			2	1・2後		
	マスコミ論			2	1・2後		
	数学			2	1・2前		
	統計学1			2	1・2前		
	統計学2			2	1・2後		
	情報と社会			2	1・2前		
	健康・スポーツ概論			2	1・2前		
	スポーツと現代社会			2	1・2後		
	身体運動の科学			2	1・2後		
	法学入門			2	1・2前		
	教育と生活			2	1・2前		
	会計学入門			2	1・2後		
	社会基盤概論			2	1・2後		

授業科目の名称		単位数			標準 履修 年次	備 考			
		必修	選択 必修	選択					
共 通 教 育 科 目	教 養 教 育 科 目	言語と社会			2	1・2前			
		論理・表現入門			2	1・2前			
		共生社会			2	1・2後			
		教育と社会			2	1・2後			
		個人と社会			2	1・2前			
		こころの科学的探究			2	1・2前			
		現代社会の諸問題A			2	1・2前			
		現代社会の諸問題B			2	1・2前			
		現代社会の諸問題C			2	1・2前			
		とちぎ学			2	1・2後			

		日本事情A	2					1・2前	留学生対象必修科目。 (交換留学生を除く)
		日本事情B	2					1・2後	
		初級フランス語1-1			1			1前	学部が許可した場合以外は、初級1-1か ら履修をはじめること。 初級1-1を履修する者は、同時に 初級2-1の履修をはじめられる。 留学生は母語以外について履修可とする。
		初級フランス語1-2			1			1後	
	初級フランス語2-1			1		1前			
	初級フランス語2-2			1		1後			
	中級フランス語1			1		2・3前			
	中級フランス語2			1		2・3後			
	初級中国語1-1			1		1前			
	初級中国語1-2			1		1後			
	初級中国語2-1			1		1前			
	初級中国語2-2			1		1後			
	中級中国語1			1		2・3前			
	中級中国語2			1		2・3後			
	初級韓国語1-1			1		1前			
	初級韓国語1-2			1		1後			
	初級韓国語2-1			1		1前			
	初級韓国語2-2			1		1後			
	中級韓国語1			1		2・3前			
中級韓国語2			1		2・3後				
自主科目A			2		1・2・3・4				
自主科目B			2		1・2・3・4				
自主科目C			2		1・2・3・4				
自主科目D			1		1・2・3・4				
自主科目E			1		1・2・3・4				
自主科目F			1		1・2・3・4				
海外研修A			2		1・2・3・4後				
海外研修B			2		1・2・3・4後				
海外研修C			2		1・2・3・4後				
海外研修D			2		1・2・3・4後				

(2) 専門教育科目

授業科目の名称		単位数			標準履修年次	備考
		必修	選択必修	選択		
専 門 教 育 科 目	初等教育専門科目	教職論 (小・中・高)	2			1・2前
		教育原理 (小・中・高)	2			1・2後
		教育の制度と社会 (小・中・高)	2			2・3前
		教育心理学 (小・中・高)	2			1・2前
		教職実践演習 (小・中・高)	2			4後
		教育課程論 (小・中・高)	2			2後
		道德指導法 (小・中・高)	2			2・3前
		特別活動指導法 (小・中・高)	2			2・3前
		教育方法論 (小・中・高)	2			2・3前
		生徒指導と進路指導 (小・中・高)	2			2・3前
		教育相談 (小・中・高)	2			2後
		総合的な学習に関する指導法 (小・中・高)	2			2・3・4後
		小学校国語 (書写を含む)	2			1・2・3・4後
		小学校社会	2			1・2・3・4後
		小学校算数	2			1・2・3・4前
		小学校理科	2			1・2・3・4前
		小学校生活			2	1・2・3・4後
		小学校音楽			2	1・2・3・4後
		小学校図画工作			2	1・2・3・4前
		小学校家庭			2	1・2・3・4前
		小学校体育			2	1・2・3・4前
		生涯学習概論			2	1・2・3・4後
		外国語科指導法 (初等)	2			3・4前
		発達心理学	2			2・3前
		特別支援教育総論	2			1後
		知的障害児教育総論	2			2・3後
		知的障害の発達心理学	2			2・3前
		国語科教育法 (初等)	2			2・3前
		社会科教育法 (初等)	2			2・3前
		算数科教育法 (初等)	2			1・2・3後
		理科教育法 (初等)	2			1・2・3前
		生活科教育法 (初等)			2	2・3前
		音楽科教育法 (初等)			2	2・3前
		図画工作科教育法 (初等)			2	1・2・3後
		家庭科教育法 (初等)			2	1・2・3後
		体育科教育法 (初等)			2	1・2・3後
		教職初期指導			2	1後
		教職総合指導	2			2・3前
		教職実践研究 (小・中・高)			2	3後
		教育実習事前事後指導 (小)			1	3後
小学校教育実習			4	3後		
特別支援教育専門科目	特別支援教育専門科目	知的障害児・者心理学		2		2・3前
		知的障害児・者生理心理学		2		2・3後
		知的障害の認知心理学		2		2・3前
		視覚障害教育		2		2・3後
		聴覚障害者教育総論		1		2・3前
		肢体不自由者教育総論		2		2・3後
		病弱教育		2		2・3前
		重複障害教育		2		2・3前
		言語障害教育		1		2・3前
		発達障害児の心理と教育		2		1・2後
		知的障害児教育法 1		2		3前
		知的障害児教育法 2		2		3後
		知的障害児教育課程論		2		2・3後
		特別支援学校教育実習事前事後指導		1		4前
特別支援学校教育実習		2		4前		

授業科目の名称		単位数			標準履修年次	備考
		必修	選択必修	選択		
専 門 教 育 科 目	日本語学概論A	2			1・2 前	中等教育専門科目のうち、必修科目(8科目)については、履修単位数の上限22単位には含まない。
	日本語学概論B	2			1・2 後	
	日本語文法A			2	1・2 前	
	日本語文法B			2	1・2 前	
	文章表現法	2			2・3 後	
	日本人の言語史A			2	2・3 前	
	日本人の言語史B			2	2・3 後	
	日本文学史A	2			1・2 前	
	日本文学史B	2			1・2 後	
	日本文学史C			2	2・3 前	
	日本文学史D			2	2・3 後	
	日本古典文学研究A			2	2・3 前	
	日本古典文学研究B			2	2・3 後	
	日本近代文学研究A			2	2・3 前	
	日本近代文学研究B			2	2・3 後	
	日本近代文学研究C			2	2・3 前	
	日本近代文学研究D			2	2・3 後	
	漢文学概論A	2			1・2 前	
	漢文学概論B	2			1・2 後	
	書道A	1			1・2・3 前	
	書道B			1	1・2・3 後	
	国語科教育法1			2	2 前	
	国語科教育法2			2	2 後	
	国語科教育法3			2	3 前	
	国語科教育法4			2	3 後	
	教育実習事前事後指導(中・高)			1	4 前	
	高等学校教育実習			2	4 前	
中学校教育実習			4	4 前		
専門演習A	2			2 前		
専門演習B	2			2 後		
専門演習C	2			3 前		
専門演習D	2			3 後		
卒論指導演習1	2			4 前		
卒論指導演習2	2			4 後		
卒業論文	8			4 後		